

# 日医工医療行政情報

<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/>

## 2022年度診療報酬改定 入院基本料等 褥瘡対策

作成：日医工株式会社（公社）日本医業経営コンサルタント協会認定 登録番号第4828号 長岡俊広

参考資料：2022年3月4日 「診療報酬の算定方法の一部を改正する件（告示）別表第一 医科点数表」  
 2022年3月4日 「診療報酬の算定方法の一部改正に伴う実施上の留意事項について（通知）別添 1 医科点数表」  
 2022年3月4日 「基本診療料の施設基準等の一部を改正する件（告示）」  
 2022年3月4日 「基本診療料の施設基準等及びその届出に関する手続きの取扱いについて（通知）」  
 2022年度診療報酬 疑義解釈（その1～その28）

凡例

通知等

疑義解釈

MPSコメント

資料No.20221122-2024

本資料は、2022年9月27日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです  
 が、その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接  
 または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます

中医協総会にて、薬剤師も加わった褥瘡対策チームによる取組の評価が要望されました

褥瘡対策チームを構成する職種として、基準に規定されていない薬剤師等がいずれの入院料においても一定程度参画していたことが示されました

### 褥瘡対策チームの各職種の役割について

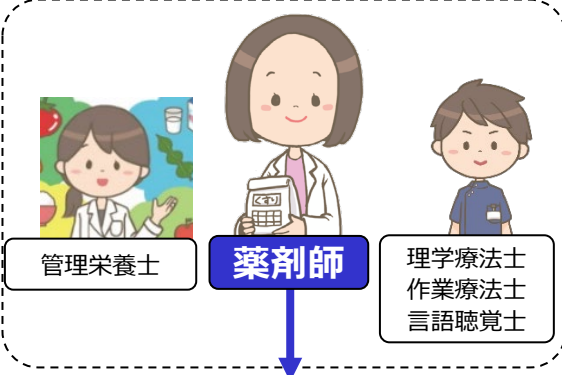
施設基準として規定されている褥瘡対策チーム



専任医師



専任看護師



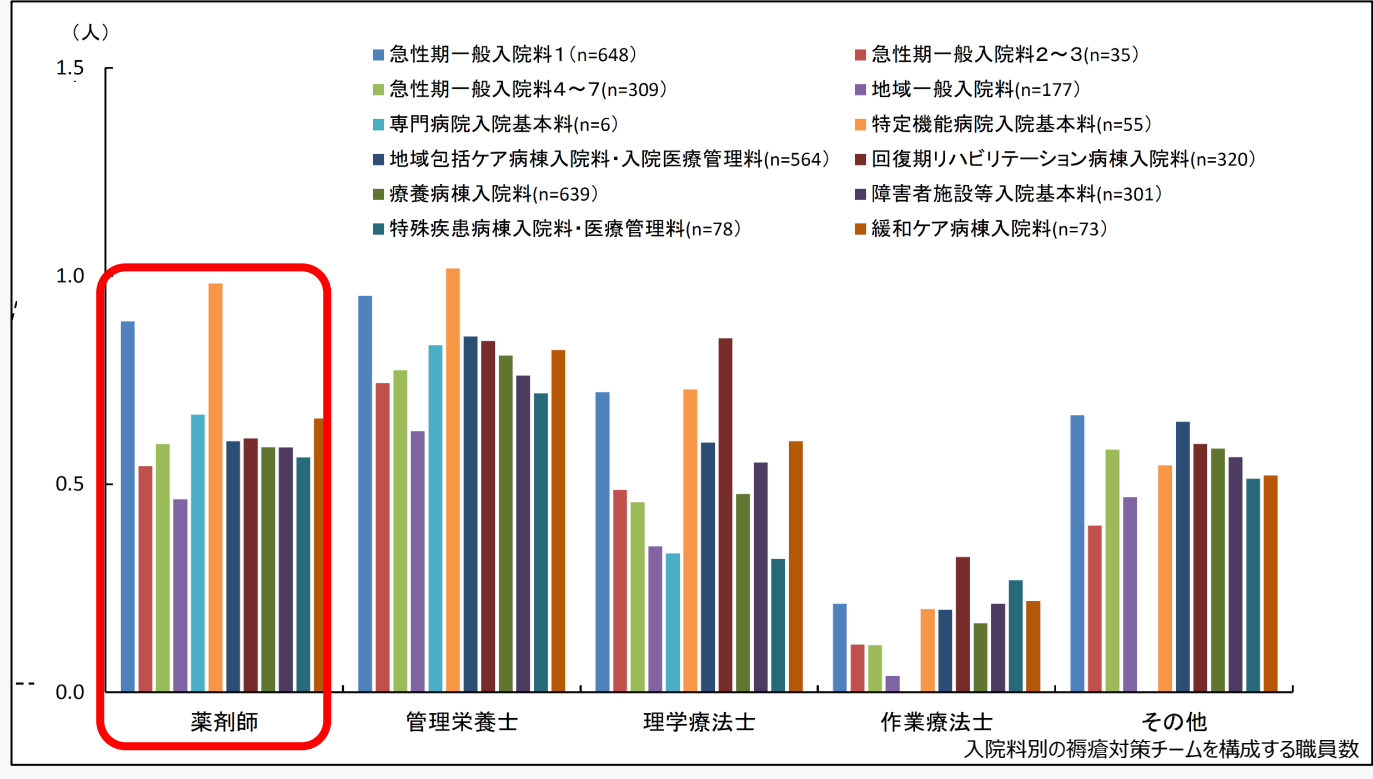
### 薬学的介入

- ① 褥瘡の病態を観察し、治療に使用する外用薬やドレッシング剤（創傷被覆剤）についてその特性を活かした選定、使用法を提言・指導し、薬剤の効果を評価
- ② 褥瘡周囲の皮膚のたるみなどによる、傷のゆがみは薬剤の効果に現れにくいいため、原因を改善して治療期間の短縮
- ③ 外用薬に限らず、褥瘡の発症に関する内服薬の影響を把握し、副作用を防止

予防・早期発見

適切な褥瘡管理

褥瘡の改善・治癒



【出典】 中医協総会 令和3年11月12日 入院(その3)より抜粋

本資料は、2022年9月27日迄の情報に基づき、日医工（株）が編集したものです。その正確性等について保証するものではありません。本資料のご利用により、直接または間接に損害が発生したとしても、一切の責任は負いかねます。

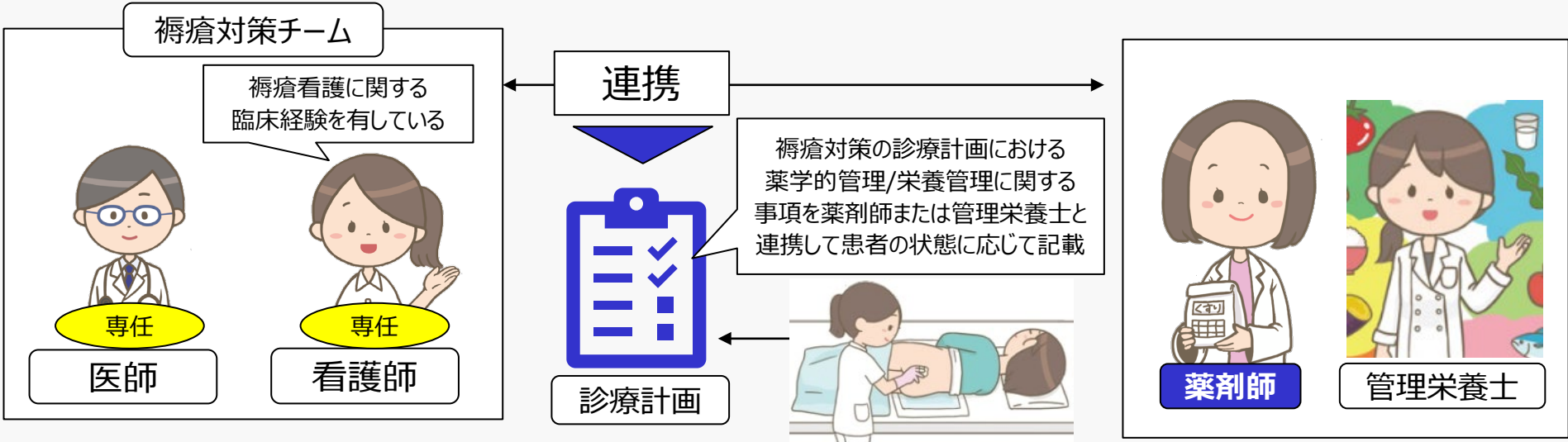
- ・入院基本料の褥瘡対策の施設基準に、薬剤師、管理栄養士との連携が盛り込まれました
- ・必要に応じての連携ではありますが、薬剤師が関与する必要性が高まった改定でないかと思われます

## 通則

7 入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、**褥瘡対策**および栄養管理体制について、別に**厚生労働大臣が定める基準**を満たす場合に限り、入院料の所定点数を算定する

- ・適切な褥瘡対策の診療計画の作成、実施及び評価の体制がとられていること
- ・褥瘡対策を行うにつき、適切な設備を有していること

4 褥瘡対策の基準  
 (4) 褥瘡対策の診療計画における薬学的管理に関する事項及び栄養管理に関する事項については、必要に応じて**薬剤師**又は**管理栄養士**と連携して当該事項を記載する



当該保険医療機関において、褥瘡対策が行われていること

## 褥瘡対策チームの設置

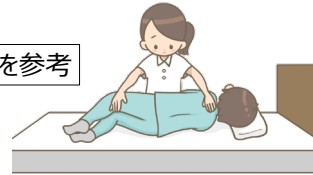


褥瘡看護臨床経験を有する  
看護職員

日常生活の自立度が低い入院患者

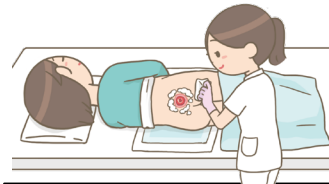
別添6の別紙3を参考

褥瘡に関する危険因子の評価



褥瘡に関する危険因子のある患者及び既に褥瘡を有する患者

褥瘡対策の診療計画の  
作成、**実施**及び評価



危険因子評価票と診療計画書  
はそれぞれ独立した様式となっ  
ていても可

当該医師や当該看護師  
が作成した診療計画に  
基づくものであれば、  
褥瘡対策の実施について、  
当該医師又は当該看護  
職員以外であっても可



・薬学的管理に関する事項  
・栄養管理に関する事項  
患者の状態に応じて記載

褥瘡対策の診療計画

必要に応じて連携



薬剤師

管理栄養士

栄養管理に関する事項については、栄養管理計画書をもって  
記載を省略可。体重減少、浮腫の有無等褥瘡対策に必要な  
事項を記載していること



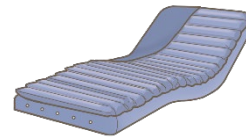
診療所において、薬学的管理及び栄養管理を実施している  
場合について、当該事項を記載しておくことが望ましい。



褥瘡対策に係る委員会



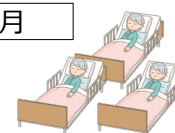
褥瘡対策チームの構成メンバー  
等による褥瘡対策に係る委員会  
が定期的開催されていることが  
望ましい



患者の状態に応じて、褥瘡対策に必要な  
体圧分散式マットレス等を適切に選択し  
使用する体制が整えられていること



毎年7月



褥瘡患者数等について、  
別添7の様式5の4により届出

# 褥瘡対策に関する診療計画書

別添6の  
別紙3

褥瘡に関する危険因子のある患者及び既に褥瘡を有する患者に対して薬剤師や管理栄養士が連携し診療計画を立てる際には別添6の別紙3に示す必要な内容を記載します

別紙3

## 褥瘡対策に関する診療計画書（2）

氏名 \_\_\_\_\_ 殿（男・女） \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日生（ \_\_\_\_\_ 歳）

＜薬学的管理に関する事項＞  対応の必要無し

褥瘡の発症リスクに影響を与える可能性がある薬剤の使用

無  有（催眠鎮静剤、抗不安剤、麻薬、解熱鎮痛消炎剤、利尿剤、腫瘍用薬、副腎ホルモン剤、免疫抑制剤、その他（ \_\_\_\_\_ ））

薬学的管理計画  
＜すでに褥瘡を有する患者＞ 薬剤滞留の問題  無  有

「薬剤滞留の問題」とは、創の状態や外用薬の基剤特性の不適合により薬剤が創内に滞留維持できていないこと等

＜栄養管理に関する事項＞  対応の必要無し  栄養管理計画書での対応

栄養評価	評価日 _____ 年 _____ 月 _____ 日		
	体重 _____ kg(測定日 / )	BMI _____ kg/m <sup>2</sup>	体重減少（無・有）
	身体所見	浮腫（無・有（胸水・腹水・下肢）・不明）	
	検査等 <small>検査している場合に記載</small>	<input type="checkbox"/> 測定無し Alb値( _____ )g/dL 測定日( / )	<input type="checkbox"/> 測定無し Hb値( _____ )g/dL 測定日( / )
	栄養補給法	経口・経腸（経口・経鼻・胃瘻・腸瘻）・静脈	栄養補助食品の使用（無・有）
栄養管理計画			

[記載上の注意]

- 1 対応の必要がない項目の場合、□にチェックを入れること。
- 2 栄養管理に関する項目に関して、栄養管理計画書にて対応する場合は、□にチェックを入れること。

- 褥瘡予防管理ガイドラインでは褥瘡対策として多くの薬学的介入が必要とされています
- 中医協にて、薬剤師も加わった褥瘡対策チームによる取組に対する評価を求めた議論が交わされていました
- 2022年度の診療報酬改定では、入院基本料の褥瘡対策の施設基準に、薬剤師、管理栄養士との連携が盛り込まれました
- 褥瘡対策に関する診療計画書の様式に「薬学的管理」に関する欄が追加されました
- 今後の改定でも、タスク・シフト/シェアの観点から薬剤師を含めたチーム医療の推進が進められていくことが予想されます





日医工がお届けする **Stu-GE** は、

医療従事者の方のための医療行政情報サイトです。

ご覧頂ける  
テーマ別  
情報一覧

- 診療報酬改定関連の速報情報
- 診療報酬点数の施設基準や算定要件の情報
- 調剤報酬全点数情報
- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局の施設基準
- DPC/PDPS関連 新規薬価収載に係る包括評価対象外薬剤一覧  
DPC公開データを用いた各種医療圏分析
- その他医療制度に関する情報

会員登録は、**無料**

いますぐ、会員登録サイトで登録を!!

**会員特典1** メールマガジンの受信

**会員特典2** 会員限定コンテンツの閲覧

スマートフォンで簡単登録

パソコン画面で入力



<https://stu-ge.nichiiko.co.jp/registrations/index>